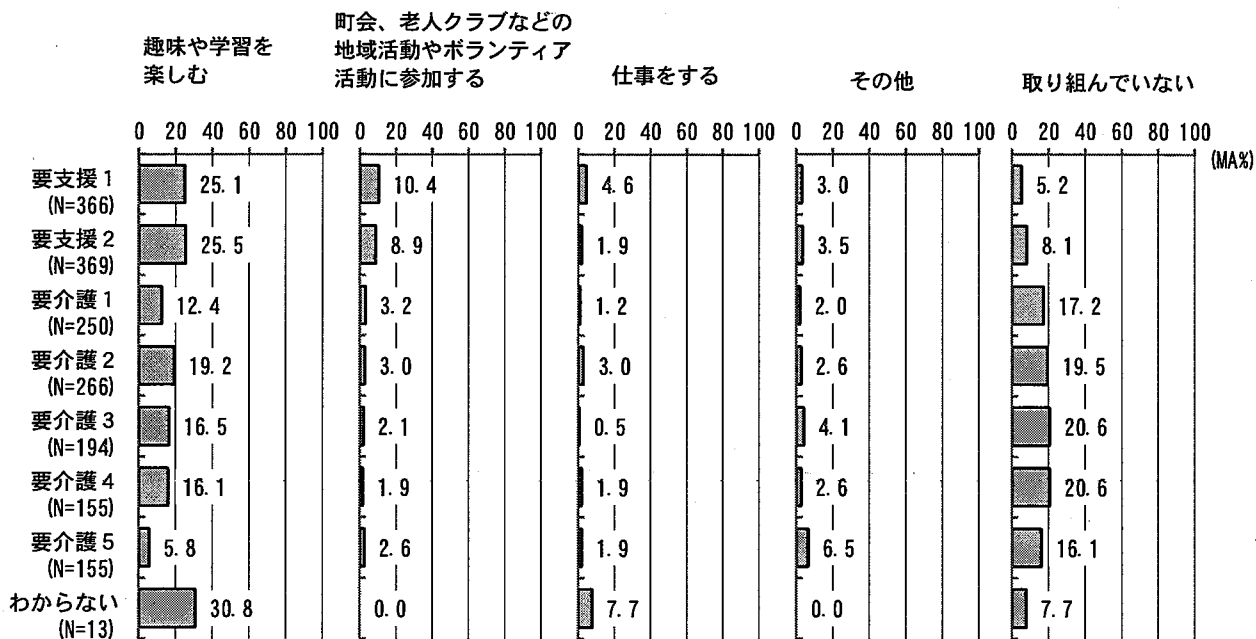
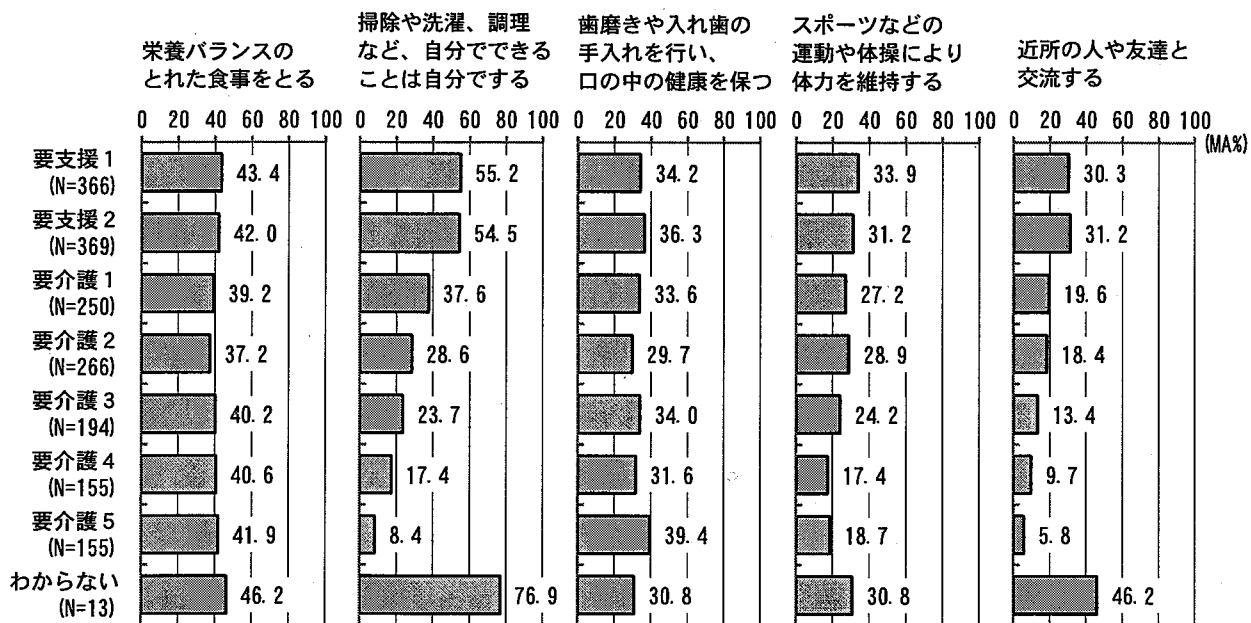


要介護度別でみると、要支援1・2は「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」が5割台で最も多くなっており、要介護1～5では「栄養バランスのとれた食事をとる」が4割前後で最も多くなっている。しかし、要介護度が高くなるほど、「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」や「スポーツなどの運動や体操により体力を維持する」、「近所の人や友達と交流する」が低下している。(図5-1-2)

【図5-1-2 介護予防としての取り組み（要介護度別）】

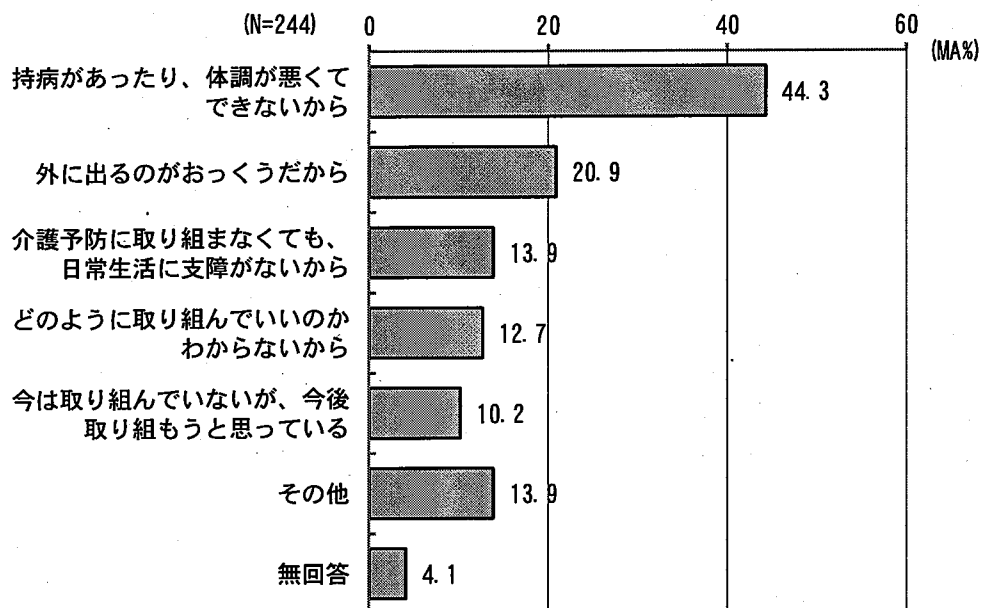


② 介護予防に取り組んでいない理由

【問13で「10 取り組んでいない」に○をつけた方のみお答えください。】

問13-1 あなたが、介護予防について、取り組んでいない理由は何ですか。(○はいくつでも)

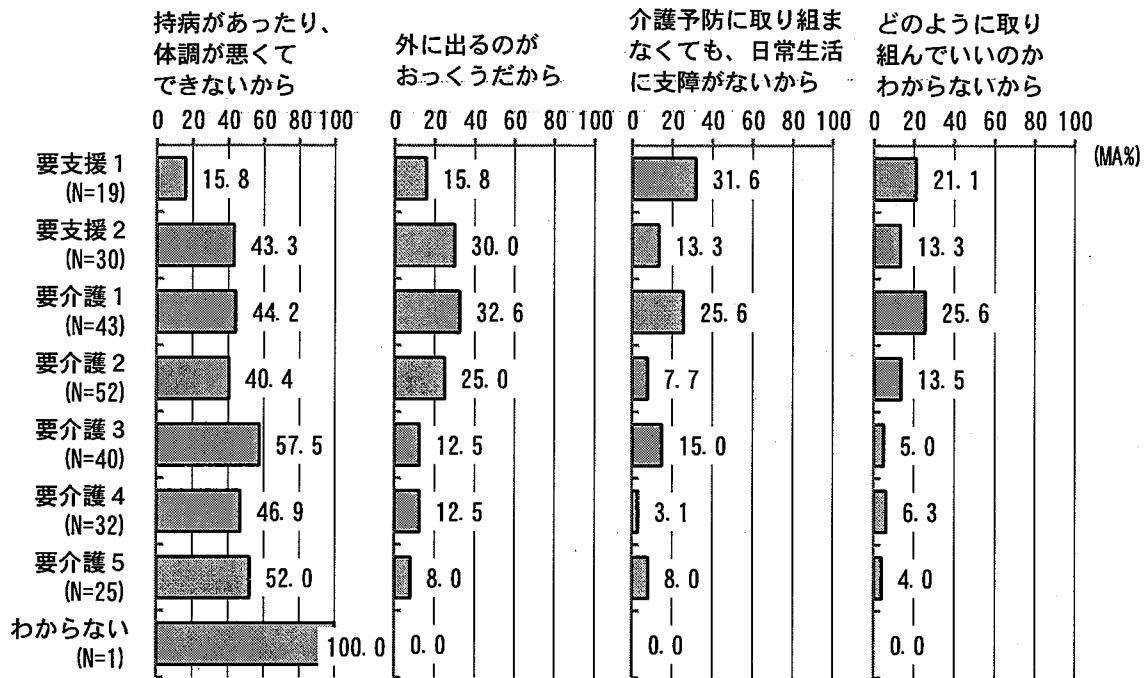
【図5-2 介護予防に取り組んでいない理由】



介護予防に取り組んでいないと回答した人に、その理由をたずねると、「持病があったり、体調が悪くてできないから」が44.3%で最も多く、次いで「外にでるのがおっくうだから」が20.9%、「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」が13.9%となっている。(図5-2)

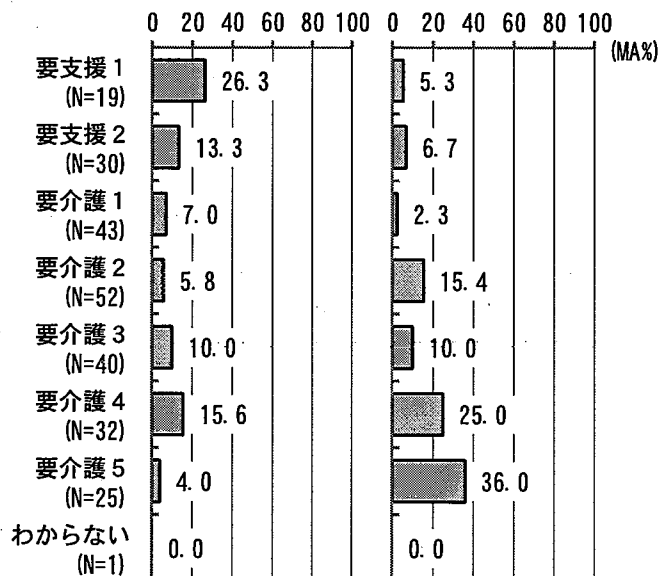
要介護度別でみると、要支援1は「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」が最も多く、要支援2と要介護1～5では「持病があったり、体調が悪くてできないから」が最も多くなっている。また、「外に出るのがおっくうだから」は、要支援2と要介護1が3割台で他の要介護度に比べ高くなっている。(図5-2-1)

【図5-2-1 介護予防に取り組んでいない理由(要介護度別)】



今は取り組んでいな
いが、今後取り組も
うと思っている

その他



(6) 介護保険制度についての意見・要望等（自由記述）

介護保険制度についてのご意見・ご要望等を次の欄に記入してください。

介護サービス未利用者調査 編

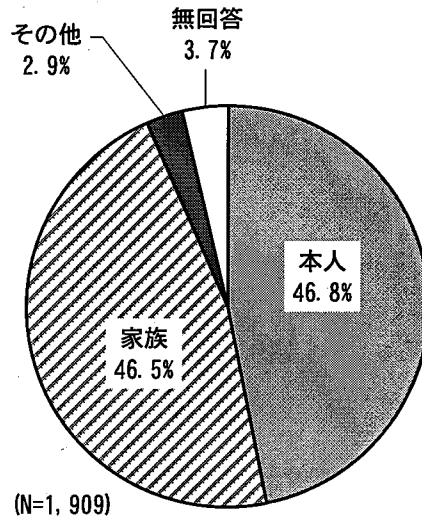
3 サービス未利用者調査結果

(1) 調査対象者の基本属性

① 調査票記入者

問1 この調査票をご記入されるのはどなたですか。(○はひとつ)

【図1-1 調査票記入者】

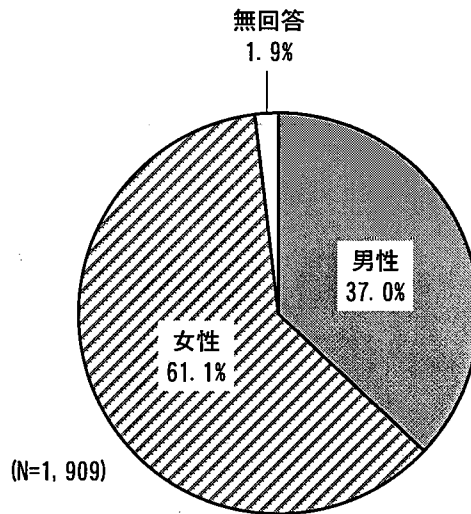


調査票記入者は、「本人」が46.8%、「家族」が46.5%となっている。(図1-1)

② 性別

問2 あなたの性別、年齢、居住区についておたずねします。(それぞれ○はひとつ)

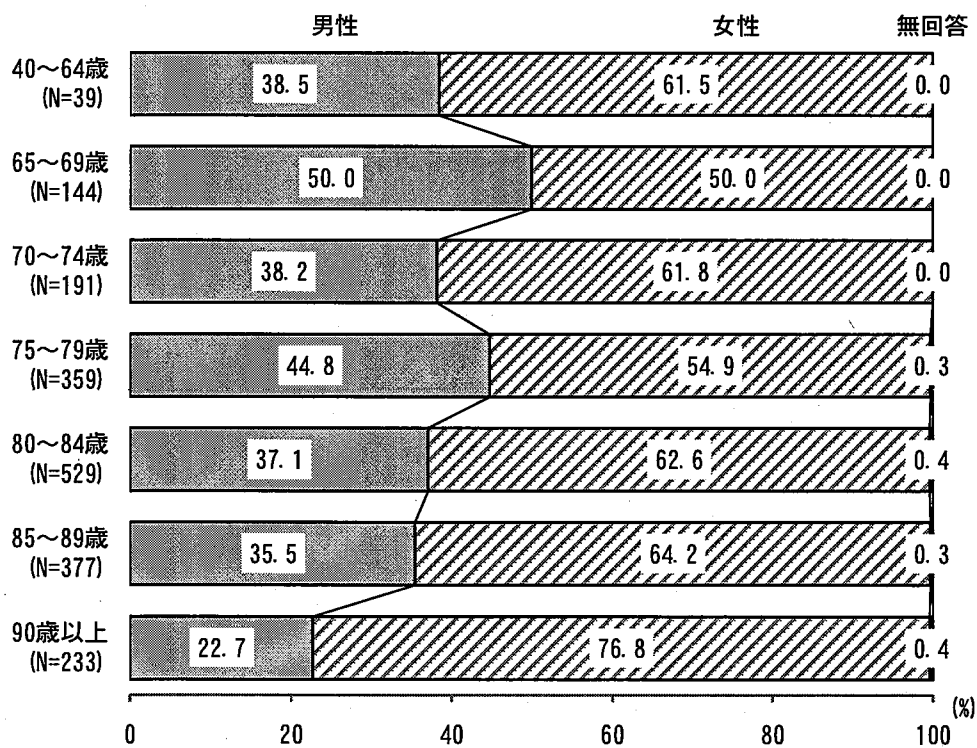
【図1-2 調査対象者の性別】



調査対象者の性別は、「男性」が37.0%、「女性」は61.1%で、女性のほうが多くなっている。(図1-2)

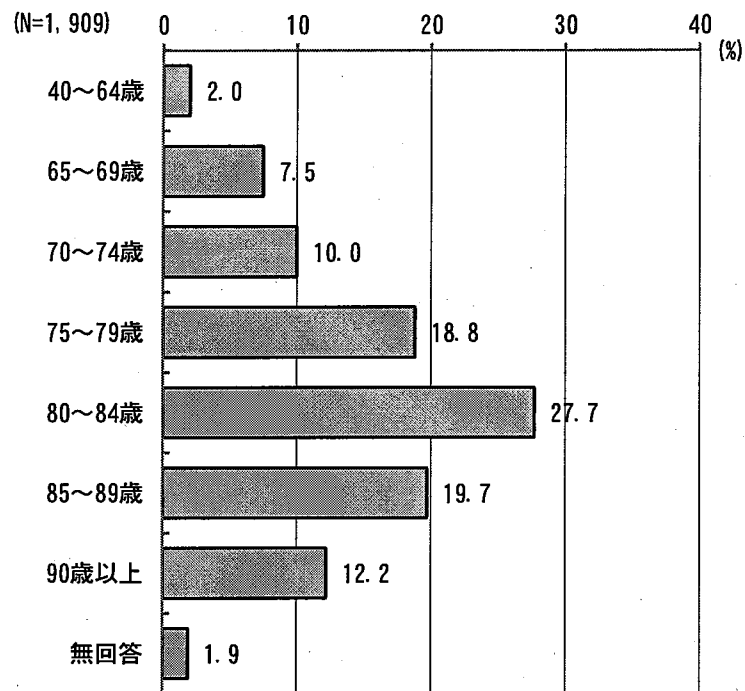
年齢別で見ると、65～69歳は男女とも50.0%となっているが、他の年齢は「女性」のほうが多くなっている。(図1-2-1)

【図1-2-1 調査対象者の性別 (年齢別)】



③ 年齢

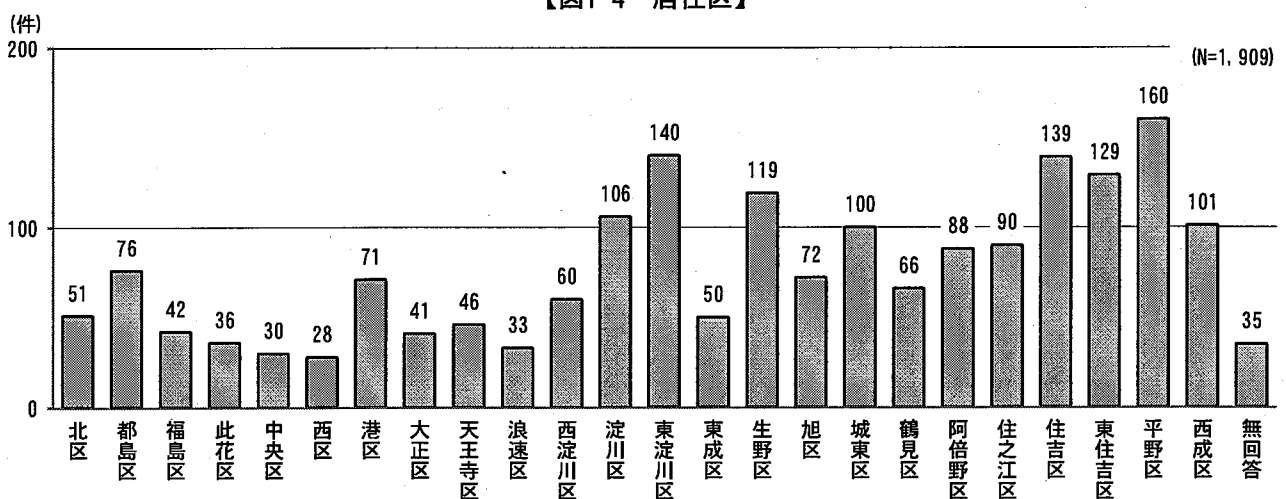
【図1-3 調査対象者の年齢】



調査対象者の年齢は、「80~84歳」が27.7%で最も多く、次いで「85~89歳」が19.7%、「75~79歳」が18.8%となっており、75歳以上の後期高齢者の割合は78.4%と高くなっている。(図1-3)

④ 居住区

【図1-4 居住区】

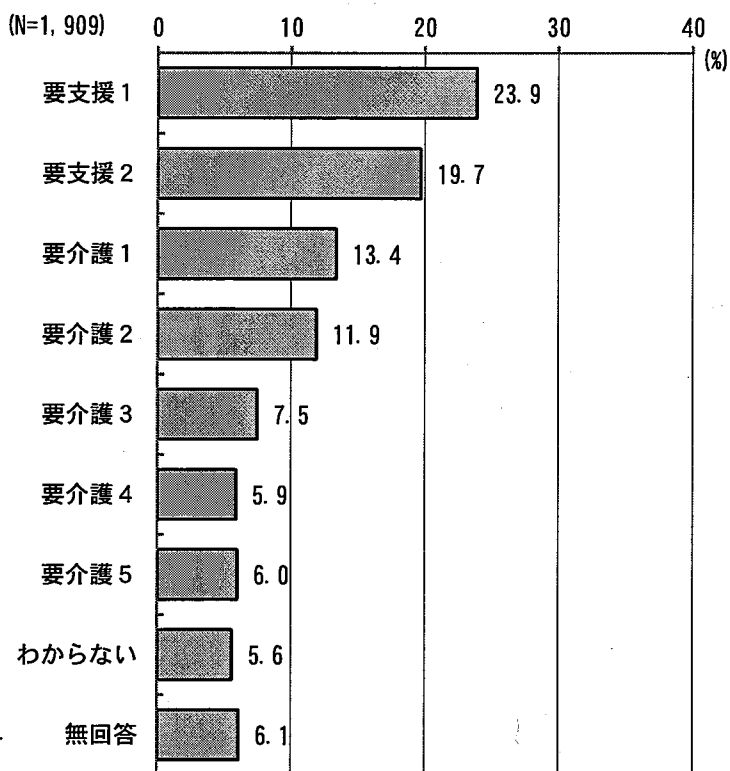


調査回答数について、「平野区」が160件で最も多く、次いで「東淀川区」が140件、「住吉区」が139件となっている。(図1-4)

⑤ 要介護度

問3 あなたの要介護度についておたずねします。(○はひとつ)

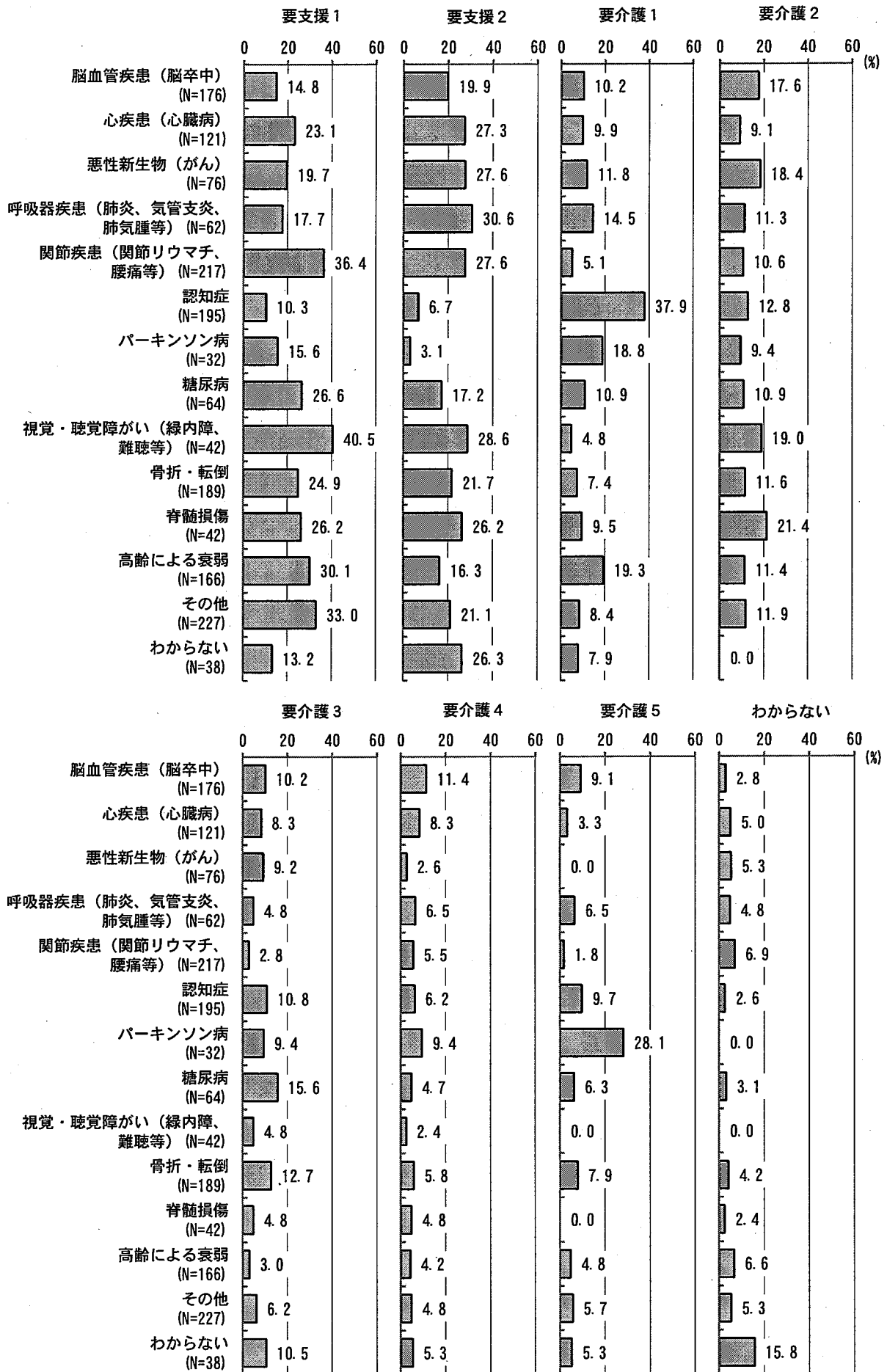
【図1-5 調査対象者の要介護度】



調査対象者の要介護度は、「要支援1」が23.9%で最も多く、次いで「要支援2」が19.7%、「要介護1」が13.4%となっている。(図1-5)

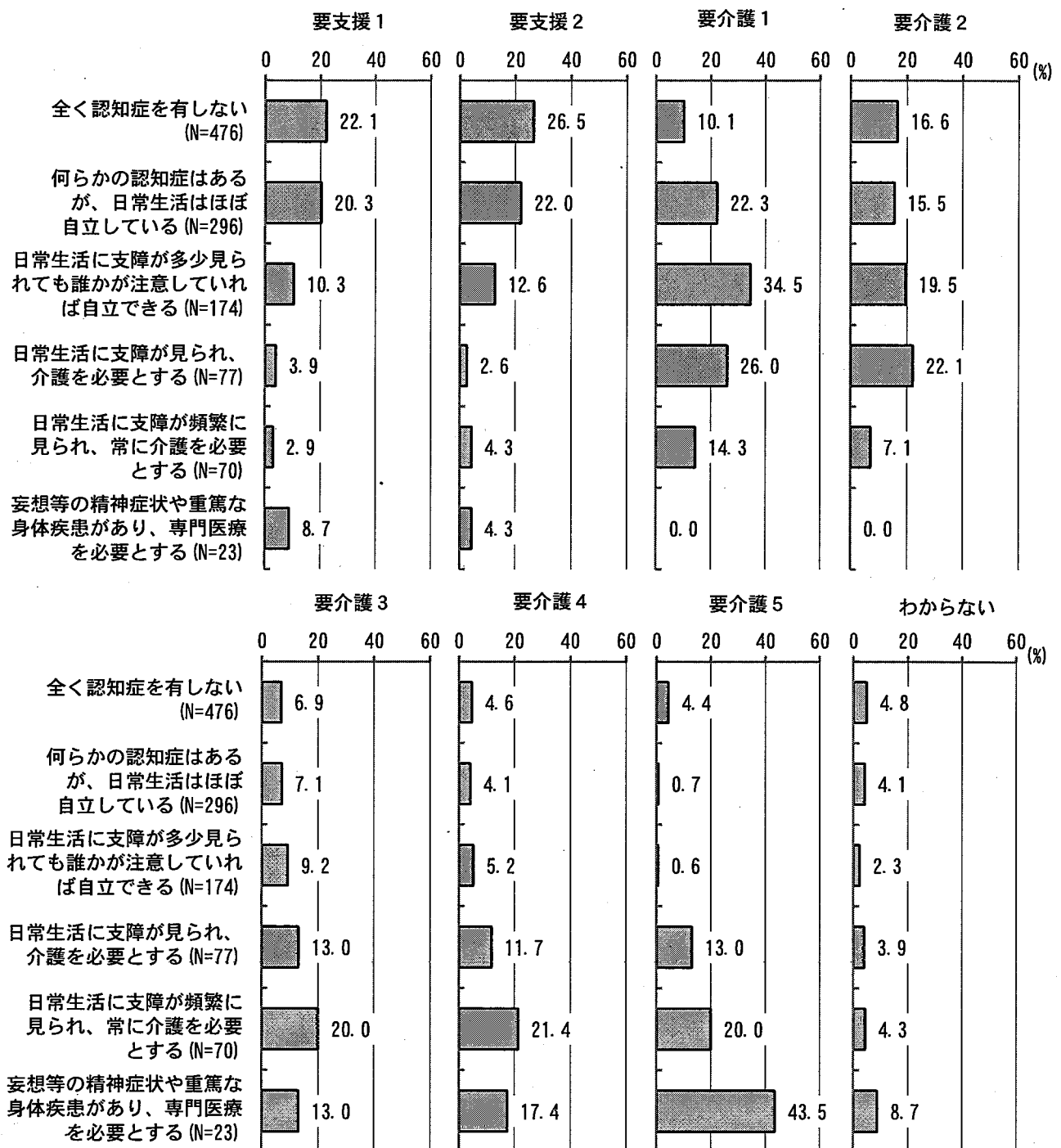
初めて要介護度認定を受けた時の主な原因や病院別で見ると、間接疾患や糖尿病、視覚・聴覚障がい、骨折・転倒、高齢による衰弱は「要支援1」で最も多くなっており、脳血管疾患や心疾患、悪性新生物、呼吸器疾患は「要支援2」で最も多くなっている。認知症は「要介護1」で最も多く、パーキンソン病は「要介護5」で最も多くなっている。また、脊髄損傷は「要支援1」と「要支援2」で最も多くなっている。(図1-5-1)

【図1-5-1 調査対象者の要介護度（初めて要介護度認定を受けた時の主な原因や病気別）】



本人の認知症の程度別でみると、認知症の程度が重くなるほど、要介護度は高くなっている。なお、日常生活に支障が頻繁に見られ、常に介護を必要とする人は「要介護3」「要介護4」「要介護5」で各々2割を占めており、妄想等の精神症状や重篤な身体疾患があり、専門医療を必要とする人では「要介護5」で43.5%と高くなっている。(図1-5-2)

【図1-5-2 調査対象者の要介護度（本人の認知症の程度別）】

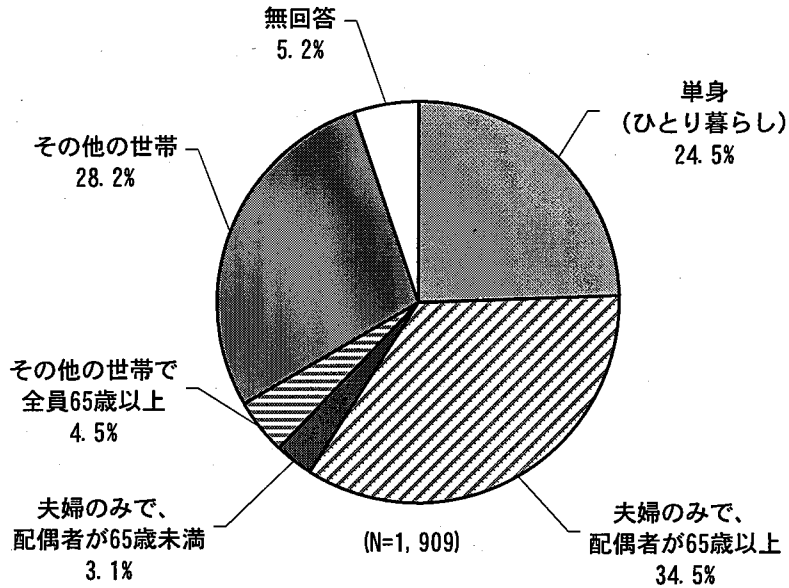


(2) 世帯の状況

① 世帯の状況 (同居家族)

問4 あなたと同居されているご家族の状況についておたずねします。(○はひとつ)

【図2-1 世帯の状況】



調査対象者の世帯の状況については、「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」が34.5%で最も多くなっている。次いで「その他の世帯」が28.2%、「単身 (ひとり暮らし)」が24.5%となっている。(図2-1)

年齢別でみると、40～64歳・65～69歳・90歳以上は「その他の世帯」が最も多く、70～74歳・75～79歳・80～84歳では「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」が最も多い。85～89歳はそれら両世帯が同率で最も多くなっているが、「単身 (ひとり暮らし)」が31.0%で他の年齢に比べ高くなっている。(図2-1-1)

【図2-1-1 世帯の状況 (年齢別)】

